

## コロナ禍の今、思考停止よりもリアル・オプション発想を

金融工学から派生した経営理論に「リアル・オプション理論」というものがあります。不確実性が高い環境下での投資案件の事業評価に活用される理論ですが、その発想はとってもシンプルで、「先の見通しがよくわからない状況なら、とにかくまずは小さく始めよう。」と、というのがリアル・オプション理論のエッセンスです。

ポスト・コロナの世界が、日本が、地域社会が、どう変化するのか。それに伴って顧客ニーズや市場環境がどう変化するのか。現時点では確定的なことは何も言えません。現在のような、変化が目まぐるしく、先の見通しが立たない環境下では、調べて可能性を見極めて計画する、というプロセスで考えると、何もできなくなってしまう。そこで、必要になるのが、冒頭で紹介した「リアル・オプション理論」です。

### ◆リアル・オプション発想のメリット

- ✓ アップサイドのチャンスをつかめる  
先が見通せないということは、市場が膨らむ可能性も大きいということ。何もしなければ成功は得られませんが、目の前のチャンスに手を付けることで、この新しい市場が拡大した場合の大きな成果を獲得できます。
- ✓ 学習効果  
とにかくやってみることで新たな知識・経験を獲得し、成功の可能性自体を高めることができます。また、渦中で情報を得ることで、将来見通しも立てやすくなります。
- ✓ ダウンサイドのコストが限定的  
安く、小さく始めることで、結果的にうまくいかなかった場合でも、損失を小さく抑えることができます。

リアル・オプション発想の経営で上記のメリットを得るために重要なのは、「小さなコスト」で始めることと、「スピーディーに」始めること、の2つです。お金をかけずに、今あるものですぐにやれることから始めてみてください。

外部環境の変化を読み切れずに何かを迷っているのなら、今はとにかく、「今すぐ小さくやってみる」ことが大切です。

参考文献：入山章栄「世界標準の経営理論」ダイヤモンド社



Value Partner は、  
数字と理論に基づく経営分析×  
女性視点のマーケティングセンスで、  
企業の力を利益につなげる Partner です。

発行者： Value Partner 樋田 昌子  
(中小企業診断士/  
認定経営革新等支援機関)  
MAIL： m.f.tsuchida@valuepartner.biz  
HP： <http://valuepartner.biz/>